

マイナス金利政策の効果

本多佑三

〈要旨〉

本稿は2016年2月から日本銀行が実施してきたマイナス金利政策の効果について、現時点でわかっていることを取りまとめ、今後の政策に資することを目的としている。まず第1に、マイナス金利政策導入は住宅投資を喚起するうえで、大きな効果があった。第2に、長期金利を大きく低下させる効果があった。このことは実質金利を下げ、民間設備投資を下支えした可能性がある。第3に、2016年8月ごろに、それまで進んできた円ドル為替レートの円高基調を止めた可能性がある。第4に、2015年中ごろからの株価下落基調を止めた可能性がある。マイナス金利政策は、政策がもたらす副作用には留意する必要があるが、景気刺激的な効果を持ちうる。ゼロ金利制約を和らげる有力な政策手段と考えられる。